

R I 第 2 5 0 0 地区 第 7 分区 葎本ガバナー補佐

こんにちは、本年度第 7 分区のガバナー補佐をさせて戴く
釧路ベイの葎本です。隣は分区幹事の春日君、分区副幹事の
渡部君です。この 1 年宜しく願います。幹事が 1 人だと
よけいな事を言ったり、馬鹿な事をしない様に、2 人に監視
されます。

釧路ベイロータリーは、創立 12 年経過しましたが、地区内
で一番若いクラブであります。ガバナー補佐の大任を与えて下
さり、また承認していただき、ありがとうございます。

釧路ベイロータリークラブの名誉のため、一生懸命頑張りま
すので、宜しく願います。釧路北ロータリークラブさんは、釧路西ロータリークラブさんとともに我がク
ラブのスポンサークラブとして、いつも支えていただきありがとうございます。私は昭和 58 年に釧路北ロー
タリーに入会しました。高橋邦弘会員と同じ日に入会しました。10 年以上お世話になり、楽しい思い出で一杯
です。ベイクラブの創設でお世話になり、感謝の気持ちで一杯です。

他にも責任の重い、重要な事業があります。色々取り組んでいかなければならない問題が多いので、緊張し
ております。

今一番すべき事は、ガバナー公式訪問の時に、姉妹地区の韓国から、高校生 11 名、ロータリアン数名が第 7
分区に来ます。その接待、ホームステイに皆様のご協力をお願いします。

私は一般のロータリアンが、なかなか第 7 分区の他のクラブの方と知り合いになれないのではないかと思
います。ロータリーの面白さは、ロータリーを通じて色々な方と知り合う事が重要だと思います。今年度は中嶋
会長、萩原幹事に分区で知り合いを増やす企画をお願いしております。

今年の山本ガバナーは大変素晴らしい方です。足立パストガバナーはもちろん素晴らしい方です。紙マスク
を最初に作った方で、日本全国に支店を持ち、大きな会社の社長です。挨拶はとても短いです。本日、韓国の
留学生の事で電話をしたところ、公式訪問の時の 15 分の話について大いに悩んでいる、と話されておしま
した。ロータリーは難しい言葉と建前が多すぎるとの事です。皆の仕事に迷惑がかからない様のしたい。とにか
く本業をしっかりと、地域社会に奉仕をする、と目標を掲げております。

国際奉仕では、私の時は、北、西、南、ベイの 4 クラブとバンコク南 RC との MG で、6 機の浄水機を設置
しました。昨年度も分区全体で、3330 地区との MG を利用して、水の浄化装置を設置しました。今年も分区
会員から、1000 円 / 1 人戴き浄化装置を寄贈します。とにかくアジアは水の事情が悪く、20% の子供が、水に
起因する病気で死んでいるとの事です。この事業は、我々の想像以上に、価値のあるものです。またポリオ撲
滅事業に関しては、長年の批判がありますが、なにとぞご協力をお願いします。

今年度の IM は 2010 年 3 月 13 日(土)に全日空ホテルで昨年度同様、第 8 分区と合同で行いたいと思います。
山本ガバナーは合同開催を歓迎しております。テーマは未定ですが、ロータリーをしっかりと勉強し、懇親会は
友情を深め、友情を広げる様にしたいと思います。この一年頼み事ばかりですが、ご協力の程、宜しく願
います。



釧路ロータリークラブ 羽生会長

こんにちは、釧路ロータリークラブの会長を引き受けることになりました羽生でございます。こちらにいるのは幹事の田中君でございます。一年間二人で頑張りますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

今ガバナー補佐の挨拶を聞いていて、多分後半は短くなるなと思ひていました。私も端折ながらやりたいと思ひます。

北海道で7番目に古いクラブでございまして、第73代目の会長ということで非常に重い責任を感じております。そんな中で一年間をやならいとならない決意をしているところでございます。その中でまずをもつて先ほど中嶋会長が言つてましたけれども釧路北ロータリークラブの皆さんには足立ガバナーを昨年度輩出され、第7分区の松田ガバナー補佐もまた輩出され、先日は50周年の式典を挙行されて忙しい一年間をなさつたような御苦勞を受けております。さすが伝統と歴史と団結力のある底力のある北ロータリークラブの皆さんだなぁということで感銘して素晴らしい活躍に心より感銘しております。

さて私一年間今年のR Iのジョン・ケニー会長のロータリーの未来はあなたの手の中にとすることを中心に考え、ロータリアンとして過去から未来への橋渡しとしての役目と、それから2500地区の山本ガバナーの特に本業に一意専心、それから退会防止に努力するということをふまえて、一年間自分の仕事とロータリー活動を閉ざすことなく一生懸命邁進していく所存であります。

最後であります今年一年間皆様のご友情をお願ひし、中嶋会長、萩原幹事のご活躍と釧路北ロータリークラブの皆様の益々のご発展をご祈念申し上げまして挨拶にかえさせていただきます。一年間どうぞよろしくお願ひいたします。



白糠ロータリークラブ 片山会長

白糠クラブの会長の片山と幹事の山田です。一年間どうかよろしくお願ひします。昔話が終つて下がつたら、坂本先生に短くて良いつて褒められましたので、ここでごしゃつて端折つて終わらせていただきます。

どうもよろしくお願ひします。



釧路西ロータリークラブ 山本会長

2009～2010年度、51年の伝統ある釧路北ロータリークラブ中嶋会長年度すばらしいスタートができたことをお喜び申し上げます。

釧路北ロータリークラブは、釧路西ロータリークラブにとっては親クラブであります。その西クラブもお蔭様で今年度40周年を迎えることになりました。今年度の西クラブのテーマは『広げよう友愛の輪』としました。ロータリーの原点に返り親睦と奉仕、そして楽しく活力ある例会運営を心がけていこうと考えています。

また、当西クラブには女性会員が4名おります。さわやか笑顔で皆様のご来訪をお待ちしております。今年度どうぞよろしくお願い致します。



東ロータリークラブ 東堂会長

東ロータリークラブの本年度の会長でございます東堂でございます。こちらが出山幹事でございます。ともどもに一年間よろしくお願ひしたいと思います。私、東ロータリークラブに入りましてまだ5年目なんでございますけども、会長ということで、皆様方も東に来ますとすぐ会長になれるので、どうか会長を経験されたい方は、東の方にひとつ来ていただきたいとこのように思います。こういう役は本当は一番嫌なんでございますけども、なんせ押されて押されてどうしようもないってことで、なったからには皆さんにご心配をかけるように今年一年頑張っていきたいなと思います。

東の今年のスローガンというのはひとりひとりの足元を盤石にと、こういうスローガンを掲げております。かっこいい国際奉仕とか社会奉仕とか皆さん方つくっておられますけども、まず我々は自分の足元を盤石にするんだと、それがなくして社会奉仕の一念も湧いてこないし、そういうこともできないということでございまして、ひとりひとりの足元を盤石にしていくとこれがまず一つの大きなスローガンでございます。

もうひとつは親睦をまず第一に考えております。今まで親睦といいますと、皆さん方はどうか知りませんが、よそのクラブに行ったことないもんですから初めて来たんですけど、いつも来る人は席順同じなんです。だいたい同じところに皆集まってくるんです。これでは親睦にならないということで、限られたこの30分の時間をいかにして情報を交換していくかと、これが大きなロータリーの親睦の意味だと思います。そういうことで、席順は毎回違うということで、いろんな人とまず親睦を深めながら話をしていくと、その中からいろんな情報を掴みながら自分のものに取り入れるものは取り入れていくと、こういうことで本当にやっていくわけでございます。もう一つは継続事業としましてですね、大学に今一人送っているわけです。奨学金制度、この継続はずっとやっております。それとアオダモの森。ちょうど200本になりました。これは30年50年かかるわけですけども、この木というものは、植えるということは命を植えることになると、そういう意味からもね我々一人一つが命を植えていくとこういうことで、東ロータリークラブの今年度ひとつ幹事ともども頑張っていきますのでよろしくお願い致します。以上です。



音別ロータリークラブ 佐藤会長

音別ロータリークラブ会長の佐藤 巧です。そして幹事の横山寛道です。よろしくお願いします。

私どもの音別ロータリークラブは、会員数 17 名の少人数の小規模クラブです。

現在、音別の人口は 2,500 人弱でありまして、過疎の町です。会員増強は音別クラブにとって大変難しい問題ですので、例年クラブの重点目標の一つに掲げて取り組んでいます。

小規模クラブですので大きなプロジェクト活動などは無理ですので、地域社会の一人でも多くの人にロータリークラブ活動に関心を持って理解をしていただくために、地域と共に歩み、地域と触れ合いながら、「身の丈に合った活動」を心掛けています。

内にあっては、ロータリーの原点とも言える「クラブ例会」への出席率の向上に努めています。ロータリークラブ活動に理解と協力をいただいている家族への感謝の念を忘れずにロータリーのエネルギーである「親睦」をこよなく大切にしています。

たまたま、今年度はクラブ創立 30 周年の節目の年でありますので、30 年前の創立時に志に思いを馳せながら、今、何かをせねばと考え巡らせている最中です。

最後に、中嶋会長、萩原幹事をはじめ役員皆様のご活躍にエールを送りますと共に、会員皆様のご健勝と「釧路北ロータリークラブ」の益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。ご静聴ありがとうございました。また、貴重な時間をありがとうございました。



釧路南ロータリークラブ 工藤会長

釧路北ロータリークラブの皆様、こんにちは。

今年度釧路南ロータリークラブの会長を務めます工藤と長倉幹事です。1年間よろしくお願い致します。

まず前年度、足立パストガバナー・松田パストガバナー補佐・村井前会長、新妻前幹事長そして役員の皆様に於かれましては、1年間大変お疲れ様でした。また、色々ご指導頂き誠にありがとうございました。

昨年は 50 周年と言う事でその歴史の深さ、伝統に敬意を表する次第でございます。誠におめでとうございます。

さて、北ロータリークラブの会員皆様と私はロータリー以外の様々な所で共通させて頂きました。何か、すっかりとけこんで、自分が北ロータリークラブの会員の様な錯覚を感じる時も多々ありました。いつでも、どこでも、どんな時も仲良くさせて頂き本当に嬉しく感じております。今期、私会長ですが今まで通りゆかちゃん・ゆかりちゃんをお願い致します。

さて、今年度南クラブのスローガンを「継往開来」と掲げました。継往開来とは、先人の事業を受け継ぎ、未来を切り開き、過去のものを継続し、それを発展させながら将来を開拓して行くこととなっております。

パスト会長が築いてきた事を大切に、さらに将来に向かって開拓し前進したいと思い「継往開来」を掲げました。

私、今から 14 年前、第 2500 地区第 7 分区初の女性会員として入会させて頂きました。南ロータリークラブの会員皆様が、私をもり立ててくださるので、今まで頑張ってきた事ができました。まだまだ、私未熟でございます。しかし、いつも笑顔で私らしく 1 年間頑張りたいと思います。これからも変わらぬご指導、皆様宜しくお願い申し上げます。さらに、中嶋会長様、萩原幹事様には、今期 1 年間宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、中嶋会長様、萩原幹事様のご活躍、また釧路北ロータリークラブ様の益々のご発展とご健勝そして女性会員が増える事をご祈念致しまして表敬訪問のごあいさつとさせて頂きます。

本日は、第 1 例会誠にありがとうございました。ありがとうございました。



釧路バイロータリークラブ 鈴木会長

今年度バイクラブの会長を務めます鈴木です。

一緒に参りましたのが平野幹事です。

北クラブ様の創立 50 周年記念盛大に行われました事を改めてお喜び申し上げます。私はバイクラブに入会して 11 年目を過ぎたばかりの会員でございます、大先輩方の前で挨拶をする事は大変恐縮している所でございます。

我がバイクラブは、故 坂本一ガバナーのご尽力により 1997 年 5 月に北クラブの特別代表 村井氏を始め、大先輩方のお力と皆様のおかげでバイクラブが誕生したと、これまでの我がクラブのバスト会長から伺っていた所でございます。

おかげ様で、創立 12 年を過ぎました。思えば、この 12 年間の間にはインターアクト設立や、地区大会のホスト、バイと名の付く国内クラブの交流など、力以上の活動をさせて頂きました。これもひとえに親クラブであります、北クラブ皆様方のおかげと信じている所でございます。

おかげ様で、私のクラブから本年度、葭本会員をガバナー補佐に輩出いたしました。3 月には IM を予定しております。これからまだまだ北クラブの皆様にはご支援、ご指導を頂かなければならない事が多々あるかと存知ますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、北クラブは父であるという事を前会長の野崎会長より良く聞かされております。

中嶋会長、萩原幹事の今後の活躍と会員皆様のご健勝を心からご祈念申し上げ、表敬の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



浜中ロータリークラブ 松村会長

どうもこんにちは、今日第 8 分区から唯一参加をさせて頂いております、浜中ロータリークラブ本年度の会長をさせていただきます松村と申します。どうぞよろしくお願い致します。

本日ですね、本来であれば田中幹事と二人で挨拶に来る予定でございましたけども、田中幹事、所用ができてこちらに挨拶に来れないということですね、お詫びを申しておりました。今日私一人での挨拶ということになりますのでよろしく申し上げます。

まず先だって 6 月の 6 日でございますけども北ロータリークラブさんですね 50 周年記念事業参加をさせていただきました。非常に素晴らしい記念式典ですね、非常に良い経験をさせていただきました。本当にどうもありがとうございました。改めましてこの場をお借りしてお祝いを申し上げたいと思います。どうもおめでとうございます。

その時にですね、お祝いの記念品をいただきました。その中でですね、福司さんの生酒が入ったものをいただいたんですけども、その袋を見てですね、私非常に懐かしい思いを起こさせていただきました。というのもですね、私酒屋をしておりましてですね、ずーっと昔の記憶がその袋を見て思い出すことができました。もう 30 年も前の記憶なんですけども、その袋に入れてですね酒を配達してたことを思い出しましてですね、それとともにうちの父が生前その図柄のした前掛けをして働いてたことも思い出させていただきました。非常に懐かしい、温かい気持ちにさせていただきました。本当に素晴らしい物をいただいたと思います。どうもありがとうございます。

浜中クラブ初めての会長というのは新鮮ですけども非常に珍しくですね、10 年の内で二人目でございます。そういう意味で非常に皆様方にご迷惑をおかけすることが多々あるかと思っておりますけども、何とか頑張っていこうと思っておりますのでよろしくお願い致します。



釧路北ローターアクトクラブ 小泉副会長

皆さん、こんにちは。ただ今、ご紹介いただきました釧路北ローターアクトクラブです。今年度も1年よろしくお願ひします。

本日会長の北川裕士は仕事の都合上参加することが出来なかったため、今回、挨拶を預かりましたので代読させていただきます。

日ごろは、釧路北ローターアクトクラブの活動に対しまして、多大なるご支援とご協力、また毎年の助成金を頂き誠にありがとう御座います。

早いもので私もアクトに入会し、2年半が経過しました。比較的経験の浅い会員が多く、若輩者の私が今回「会長」を務めることとなりました。

当クラブは昨年度、福島会長のもと「チャレンジ」という活動テーマをかけた、会員を思いやり、人間育成の場としてのクラブであることを、様々なかたちで残してくださいました。昨年の活動を通じて、社会勉強の場としてあるクラブということを実感できた1年であったと感じています。

ここ数年、会員の減少が大きな課題となっている中、会員の個々の力を発揮し合い、仲間とともに成長し合えるクラブであることを願ひ、今年度の活動テーマは「Unity&Advance」「団結と前進」サブタイトルに「仲間とともにプラスになろう」と掲げました。自分の意見の発言、相手の意見を聴くことが出来る、そんな「話し合える仲間」、様々なことに関心を持ち、学び高めていける「学び合える仲間」、良いところ、ダメなところ、互いに理解し合い、「支え合える仲間」。このクラブを通じて、出会えた仲間と自分自身を高めていける、そして社会勉強の場として、学び受け取ったものを「社会」に対して少しでも恩返しできるよう取り組んでいければと思っています。

ローターアクトの活動では、普段の生活だけでは感じ取ることが出来ない「魅力」がたくさんあります。それは、職場や余暇だけでは味わえない「感動」や「希望」があります。これからの時代を担う若者に、アクトの活動にぜひご入会を勧めただければ幸いです。ぜひ、ロータリークラブの皆様にも例会にいらしていただければと思っております。

長くなりましたが、今年度の目標を、多く達成できるよう活動に尽力してまいります所存です。なにぶん人生の経験もまだまだ未熟者ですが、活動に対して何かありましたら、ぜひご指導、ご鞭撻も頂ければ幸いです。

最後に、北ロータリークラブ様の益々のご発展と、会員皆様のご健勝をご祈念申し上げ、表敬訪問の挨拶とさせていただきます。

今年度1年、どうぞよろしくお願ひします。

